


ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

先月のネイチャーウォーク

名人と歩く多摩丘陵

(横浜線十日市場駅 ~ 同線中山駅)



3月のネイチャーウォークは、名人と歩く多摩丘陵の第2弾。冷たい風が吹き抜けるあいにくの天気でしたが、はるばる埼玉県から約20名の方々が集まりました。今回は、多摩丘陵を歩き尽くした名人の後輩にあたるスタッフが、名人を受けついで皆さんをご案内です。しかし、じっとしていると寒いこと寒いこと。早速出発です。



街のすぐそばに、こんなに広い里山があるのですね。

街を通り抜けると、すぐ目の前に新治市民の森が広がっていました。ここは、市民と地権者が協力して、昔のままの里山を守り育てています。里山の中では、豊富な水が湧き出し、そして多くの植物が見られました。かつてはこのような里山の風景が横浜全域に広がっていたのですね。



どんぐりも芽吹き出していました。



コンクリートの谷戸を越えて行きます。



横浜の原風景が残る新治市民の森。別の日には、子どもたちが枝で弓を作って遊んでいました。



「まるで原始の世界」との声も聞こえました。

ゆるやかな谷の頭部に入ると、そこはシダ類と針葉樹に囲まれる不思議な空間。横浜の谷戸の原風景だそうです。



里山を荒らす者の末路です...もちろん違います。里山の守り神でしょうか。

コースの途中には、満開の梅の花やウグイスの鳴き声が聞こえ、春の訪れを感じさせてくれました。咲き出した桜の下では、ビール片手にすでに宴会をしている人たちもいました。



休憩中には、里山の守り人「新治市民の森愛護会」の方々と交流が持てました。皆さん、頑張ってください!!



キセキ的に見られたキレイな鳥にもう夢中です。

しかし、季節の変わり目のためか、野鳥が出ないな・・・と、思っていた矢先、キセキレイを発見しました。さらに上空にはオオタカが舞っていました。うん、これでノルマ達成でしょうか。



水路をのぞくとなにやらもじゃもじゃ... 特定外来生物のオオフサモでした。



ニリンソウが咲いていました。



今まで里山の素晴らしさを堪能してきた訳ですが、残念ながら消えてしまう里山もあります。どうやらここは、宅地になってしまうようです。「あ～あ」そんな声があちこちから聞こえてきました。

緑地の確保に力を入れている横浜市でも、開発はまだまだ続いています。



2010年1月上旬



2010年3月下旬



今日のコースの最後の締めくくりは、県立四季の森公園。神奈川県が宅地を造るために購入した土地でしたが、豊かな自然を残そうと公園として整備しています。散策路を少し外れてみれば、新治市民の森にあったような谷が広がっていました。同じタイプの里山でも管理方法の違いで印象が全く違いますね。

四季の森公園で昼食をとった後は、恒例の認定式。今月は2人の方が認定証を授与されました。おめでとうございます！これからもよろしく願います！

さて、午後は公園を一回りしてお花見...と思っていましたが、寒さが三月とは思えない厳しさだったことから、ゴールの中山駅まで直行しました。周りの風景は春でも、気温は冬に逆戻りしたようです。皆様、お疲れさまでした。

余談ですが、多摩丘陵北部の八王子では翌朝、雪が降りました。寒かったはずです。

